

員ハ已定方針ニ基キ三名乃至四名一隊トナリ工友会
共灯ヲ携帯出勤ニ工場周囲又ハ荒井一社宅附
近ニ停止或ハ往來ニ軟派職ニノ裏切入場ヲ監視
会社側ノ切迫策ニ對抗セリ
所轄高砂警察署
六深夜ノ家庭方向ヲ禁止シテ
配席密聴レテ資力方ノ行動ニ監視
（十）

二給料受取

会社ハ予定ノ通り午後五時同法社内前物置拂下
折ニ於テ給料支拂ヲ開始シ午後六時之ツア一カ
其間職人ハ前述ノ如ク秩序整然ト一隊毎ニ各自ノ
給料ヲ受領諸事裡ニ散解セリ當日ノ受領
六百五十九ナリ

叙上ノ通り争議ハ永久性ヲ帯ビ来レルカ職工側ハ町長
ノ同情ヲ得ルコト共ノ掣肘秩序整然タシノミナラス
同志会（町中若階級以下ノ町民ヲ以テ組織セルモノ）
ノ諒解ヲホムルニ奮心シ幹部田中元固等ハ再三曰
本署長組合東播研合会等ニシテ同志会ヲ牛耳ル可
合義一方ヲ方向争議ノ経過ニ述ビ應援ヲホメ居
又現下ニ於テハ情勢觀傍ロシモノ如シ
然レ共河合義ハ一黨テアリ工友会トノ提携ヲ心要
スル無産政党組織ノ計画アリ加之今回工友会ノ入
会セル日本労働同盟ノ会長鈴木文次ハ日本署長組
合同東河合会等々トシテ水戸
問題等ニ関シ会社ノ行動ニ備スル友情ヲ抱持セルヲ
以テ早晚積極的ニ應援スルニ至ルベク斯クテハ町制ニ